

小説『佐賀のがばいばあちゃん』島田洋七 (佐賀県、佐賀市)

会誌編集専門委員会

概要

『佐賀のがばいばあちゃん』は、漫才コンビB&Bの島田洋七が書いた自伝的小説。1987(昭和62)年の初出版以来ベストセラーとなり、日本国内のほか韓国版、台湾版、英語版などもある。好評だったことから続編も出て、映画やドラマ、舞台劇にもなった。漫才師の傍ら、講演や執筆活動にも積極的に取り組み、自分の人生論や経験、おばあちゃんとの生活などを語る講演会は好評だ。

小説の舞台は、小学2年であった1958(昭和33)年秋から中学卒業までの8年間を祖母と過ごした、母親の故郷・佐賀である。この1900(明治33)年生まれ祖母が、厳しい終戦期に佐賀大学やその付属小・中学校の掃除婦をしながら五女二男計七人の子供を育てた、小説のタイトルになった「がばい(すごい)ばあちゃん」なのである。



写真1 文庫本『佐賀のがばいばあちゃん』の表紙

あらすじ

父親を原爆症で亡くした徳永昭広(島田洋七)は、原爆ドーム近くのスラム街のようなところで居酒屋を営む母親に育てられていた。まだ幼い昭広は、夜の盛り場に来ることを心配した母親が、汽車で母の姉妹と一緒に、佐賀に住む祖母・おさのばあちゃん(徳永サノ)の家へ送るところから物語が始まる。

佐賀城内にあるばあちゃんの家は極貧で、とても苦勞している人であった。しかし、明るく逞しい「がばいばあちゃん」でもある。奇想天外なアイデアや破天荒な発言で昭広を煙に巻く。驚かされればなした昭広だが、佐賀にも、学校の友達にも、ばあちゃんとの極貧生活にも馴染んでいった。小学校の運動会の時、いつも母親が来られないという状況に、毎回担任が腹痛を偽って、粗末な昭広の弁当と自分のものとを交換するなど、周囲には優しい人たちがいっぱいいて、昭広は逞しく成長する。

広島の大塚高校へ野球部の特待生として入学が決まって、ばあちゃんと別れるところで物語が終わる。本当は、ばあちゃんは近くの佐賀商業高校に行つて欲しかったようだ。

佐賀城

典型的な平城である佐賀城は、濠を含めた城域が800m四方あり、九州最大の小倉城に匹敵する規模であったと推測されている。別名を「沈み城」または「亀甲城」と言う。江戸時代初期に築城され、幕末に至るまで、佐賀鍋島氏の居城であった。江戸時代に2回の大火に見舞われたが、1838(天保9)年に「鯨の門」と「続櫓」が再建され今に残る。1874(明治7)年の佐賀の乱でできた弾痕が鯨の門の扉にある。これらは1957(昭和32)年に国の重要文化財に指定された。



写真2 JR佐賀駅南口

天守閣は現存しないが本丸御殿は復元され、佐賀鍋島藩36万石の歴史を物語る城を感じることができる。現在の佐賀市街地は、この城の城下町として発展した。

佐賀城周辺となる小説の舞台

- ① 佐賀駅: 現在は高架となるJR佐賀駅。周辺にはビルが林立して活気がある。当時は駅前に5、6軒の食堂があっただけだったようだ。川の土手沿いを40分くらい歩くとばあちゃんの家に着く。
- ② 家の前の川: ばあちゃんの家前の道を挟んで幅約8mの川が流れている。ばあちゃんが「スーパーマーケットの川」と言うこの川は多布施川の支流で、濠から続く。ばあちゃんの生家の持永家は、代々鍋島藩の乳母を勤めていたらしい。当時のイメージがある川が残っている。
- ③ 旧赤松小学校(現在の佐賀城本丸歴史館): 佐賀城は現存しないが、正門である「鯨の門」や石垣などが残る。昭広を通った赤松小学校は城内にあり「鯨の門」をくぐって入る。現在は佐賀城本丸歴史館となっている木造家屋前の広場はランドとして利用され、低学年の教室は城にあった古い茶室を使っていた。畳敷きなのでみんな正座していた。
- ④ 旧城南中学校(現在の赤松小学校): 1993(平成5)年に赤松小学校は城外の南側に移転した。そこには同じような「鯨の門」を模した「赤松小学校の校門」がある。この場所は、元は昭広も通った城南中学校であった。
- ⑤ マラソンコース: 中学校の運動会のメインイベントはマラソン大会であった。佐賀城の濠沿いに回る約7kmのコースに面してばあちゃんの家があった。現在もジョギングコースが整備されており、多くの市民が走る。

(文 塚本敏行)

<参考資料>

- 1) 『佐賀のがばいばあちゃん』島田洋七 徳間書店 2004年
- 2) 『SAGA-JO HON-MARU』パンフレット 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
- 3) 『JAPAN WEB MAGAZINE』ホームページ 日本の城 (<http://japan-web-magazine.com/japanese/japan-index.html>)

<写真提供>

- 写真1、6、7 塚本敏行
写真2、5 遠藤徹也
写真3、4 惣慶裕幸

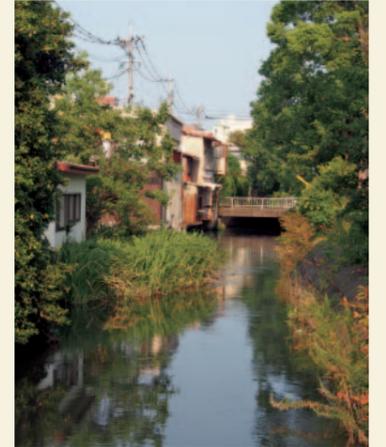


写真3 濠から続く多布施川の支流



写真4 旧赤松小学校の正門だった「鯨の門」



写真5 旧赤松小学校のランド



写真6 「鯨の門」を模した赤松小学校の校門

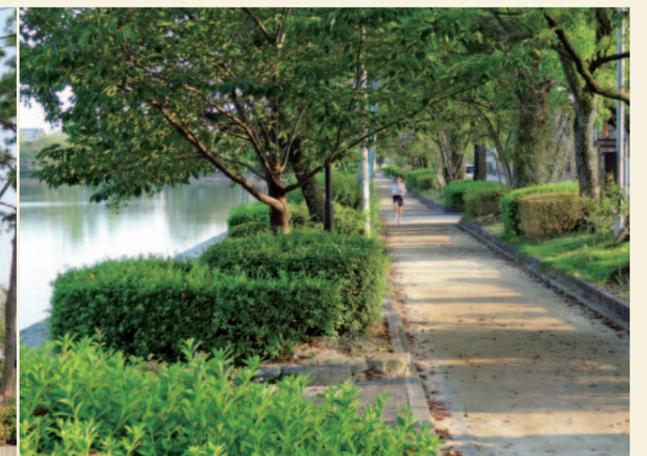


写真7 佐賀城の濠沿いのジョギングコース